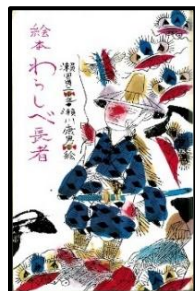


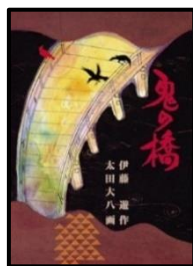


「かえるのごほうび」
木島 始／さく
梶山 俊夫／レイアウト
福音館書店（EA カ）

今日は森のお祭りです。うでくらべや力くらべが始まって、かえるとうさぎがすもうをとっています。かえるがうさぎを投げとばして、いっとうしょう！お祭りもおしまい、と思ったら「じけんだじけんだ、たいへんだ！」という声が。さて、何が起きたのでしょうか？平安時代に描かれた絵巻「鳥獣戯画」の絵本です。



「絵本わらしべ長者」
瀬田 貞二／文
瀬川 康男／絵
岩波書店（EA セ／MEA セ）



「鬼の橋」
おに はし
伊藤 遊／作
太田 大八／画
福音館書店
（1-イ／TF イトウ）

舞台は平安時代。古井戸からあの世の入口に迷いこんでしまった貴族の少年・篁は、この世とあの世をつなぐ橋の上で、恐ろしい鬼に出会います。さけび声をあげたその時、目の前に死んだはずの将軍・坂上田村麻呂が現れます。実在した人物、小野篁を主人公にした歴史ファンタジーです。

たんた新聞

号外

たんた新聞社
〒270-1147
我孫子市若松 26-4
我孫子市民図書館
Tel 04-7184-1110

いにしえを知る その2

～昔話、古典文学、平安文化など～

たんた新聞とは…

子ども向けに発行している図書館の新聞です。昨年に続き、「秋のたより」の合併号として、いにしえの世界を舞台にした子どもの本を紹介します。



「かぐやひめ」
円地 文子／文
秋野 不矩／絵
岩崎書店（EA ア）

ある日、おじいさんが竹やぶに行くと、光っている竹があり、中には小さな女の子がいました。女の子はかぐやひめと名づけられ、美しく育ちました。そこへ5人の男の人がかぐやひめをおよめさんにほしいとあらわれます。およめさんになるつもりのないかぐやひめは、それぞれにとってもむずかしい注文を出しました。



「かえるの
竹取ものがたり」

俵 万智／文
斎藤 隆夫／絵
福音館書店（EA サ）

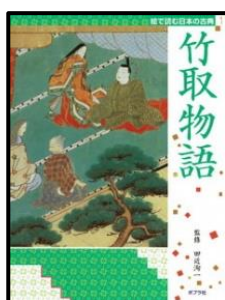


かぐやひめをはじめ、登場人物がみんな「かえる」で描かれた、ひと味ちがう「竹取ものがたり」の絵本です。絵を見るだけでも楽しめるので古典文学をはじめて読む人にもおすすめです。



もっとくわしく
知りたい人へ

「絵で読む日本の古典1
たけとりものがたり
竹取物語」
田近 洵一／監修
ポプラ社（918-工）



時代ごとに移り変わってきた着物文化にふれてみよう



「着物の大研究」
馬場 まみ／監修
PHP 研究所（593）